

巨大ジェンガ

教科・場面

総合

授業・実践のねらい

- レクリエーション活動を通して友だちを意識をする
- 教員とも協力し、それぞれの方法で工夫しながらブロックを抜取る

対象の児童・生徒

高等部 Aグループ 18名

- ・椅子座位がとれる生徒2~3名
- ・医療的ケアを必要とする生徒11名
- ・バギー16名
- ・自分で姿勢を保持したり身体を動かしたりすることが難しい生徒が多いが、教員からの問いかけに対して自分なりの表出方法で応えることができる。

教材・教具

- ・牛乳パックでつくったジェンガ
- ・スズランテープ
- ・クリップ

工夫したところ

紐をひっかけてブロックを抜取れるようにした
大きくすることで注目しやすいようにした

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

総合の授業でのレクリエーション活動や誕生日会後の出し物として活用。
2~3グループに分かれてのグループ対抗で行うことが多かった。
介助立位でブロックを抜取ったり、
腕・手を支えてもらいブロックを自分で抜取ったり、
ブロックにクリップをひっかけてクリップにつながった紐を
引っ張るなどそれぞれの生徒の実態に応じて活動を行った。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

抜きやすいようにブロックを少し出すと、押し込んでもとに戻そうとする生徒もいたが回数を重ねると少ない支援の中でもタワーが倒れないように慎重にブロックを抜取る様子が見られた。紐を引っ張る動作は教員と一緒にしたり、自らの手の動きで動かしたりとそれぞれの方法で工夫して行う様子が見られた。